



新年のご挨拶

平成二十八年を迎えまして、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また平素は、特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベに対し、格別なるご指導ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年は何年、しかも「丙申（ひのえさる）」の年です。「申」と書くこの漢字には、樹木の果実が熟して固まる、伸びるという意味があるそうです。

「丙」は「横に燃え広がる」「明らかになる」という意味があり、「丙」と「申」この二つが合わさると「物事が大きく進歩発展し、成熟する年」という解釈が出来るそうです。

現在の我が国の社会保障制度、とりわけ介護保険制度につきましては、三年毎の見直しにより、進歩発展がなされており、成熟までには至っていないような気が致します。ですが、彩香園アルテリーベにつきましては、「大きく進歩発展、成熟極まる年」を身を以て証明・実践すべく、地域の高齢者福祉・介護に貢献できますよう職員一丸となって頑張りたいと思っておりますので、本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

施設長 工藤 雅之



「今年も元気でいられますように」



「そばもちおいしかった！」

初詣

一月四日

新館神社



一月十五日、新年会を行いました。毎年恒例の獅子舞に始まり、もちつき踊りでは利用者様も音に合わせ踊り出すなど拍手をしながら大変喜ばれていました。今年一年、利用者様が楽しく笑顔で過ごせるようにお祈りし宴を終えました。

介護員 佐々木





もちつき会
十二月二十八日、恒例の餅つき会が行われました。餅つきの拍子に合わせて、利用者様の「よいしょ、よいしょ」の掛け声が大きく響いていました。また昔を思い出した。職員と一緒に餅をつく利用者様もいました。「今年もいい餅がつけた。」とつき上がった餅を召し上がり、たくさんの方の笑顔が見られた一時でした。
介護員 川崎

姉妹の再会

十二月中旬、入所者の松本サク様のお姉さん、サク様が百歳、妹さんが九十八歳。妹さんは五戸町の養老に入所中、今回は施設の職員とご家族が同行して面会が実現しました。サク様は再会を喜んでいました。サク様は表情をさだめて、微笑ましいひとときを過ごしていただきました。健康やかに過ごしていただきたいです。

相談員 高田



9月 彼岸だんご作り



10月 誕生日会



9月 敬老会（家族交流会）



1月 福笑い、書き初め



8月 盆踊り会

あんなこと、こんなこと

医務だより

編集後記
今年には暖冬小雪と言われますが、なかなか厳しい寒さが続いています。利用者様は、体調を崩すこともなく初詣や新年会に参加され楽しんでいただいています。笑顔も利用者の様子のあふれる笑顔をお届けしたいと思っております。

介護員 町屋

冬は空気が乾燥し風邪やインフルエンザが流行しやすい季節です。予防の基本は手洗い・うがい・マスク着用です。買物の外・外出時等感染する事が多いので特に注意が必要です。面会時でもマスク着用と手洗いをお願いしております。
利用者様を守るためには周囲の人達の健康維持が大切です。身体を温める食事を摂ると免疫力がアップして、風邪に負けない身体づくりの基本となります。身体を温める事は風邪予防の他にも筋肉もほぐれるので腰痛対策にもなります。心も身体も温まる工夫をして冬を乗り切りましょう。

医務主任 菊池